

第12回御所市学校規模適正化推進会議  
議事要旨

日時 平成27年6月29日(月) 19時00分～20時50分  
場所 市役所本館3階 第1会議室  
出席者 委員：田仲会長、辻内委員、山本委員、有家委員、木下委員、田仲委員、  
齋藤委員、岸田委員、津田委員、井上委員、川田委員、向手委員、  
細川委員、北谷委員、野阪委員  
事務局：安井、森川、安川、高田、高橋、森田

内容

開会

○田仲会長が挨拶を行った。

確認事項

○第10回、第11回御所市学校規模適正化推進会議議事録について  
議事録の確認を行い、承認された。

○第10回御所市学校規模適正化推進会議議事要旨について  
議事要旨の確認を行い、承認された。

○学校規模適正化の推進ビジョン案について  
委員から修正意見があり、再度検討することになった。

○その他

事務局からイノベーション戦略会議での教育に関する内容を報告した。

議事

○魅力ある学校づくりの検討について

事務局から、小中一貫教育校が学校教育法に位置づけられた法律案の概要を説明  
した後、魅力ある学校づくり、小中一貫教育について協議を行った。

主な意見は次のとおり。

- ・小中一貫教育校が魅力ある学校づくりになる。
- ・刺激になるので、小・中は別が良い。
- ・今までやってきたことを継続して、新しい方法で良い所を伸ばしていく。さらに、御所の他にはない、全く新しいものを作っていく。
- ・6-3制は行き詰まってきているので、目新しいこと、新たな方向を目指す。
- ・御所市の子どもを伸ばしてあげる。小中一貫にこだわらなくても良い。
- ・私学の良いところを活かす。(学力面、指定校推薦、英検・漢検資格、設備面、修学旅行先、あいさつ等)
- ・小中一貫校にするなら、私学への思いを取り入れる。
- ・地域性をしっかり捉えた学校づくり。御所市を出ても、御所市に戻ってくる子どもを育てる。

- ・地域で共に学び、地域で共に育ち、地域で共に生きていく学校づくり。
- ・スポーツを通して仲間ができる学校づくり。強くなれば人が集まる。
- ・私学に行きたい社会になっていないか。地域の魅力よりも、良い学校に行かせたい社会になっていないか。公立には公立の魅力、私学には私学の魅力がある。
- ・私学の学力偏重は大分ましになった。良い学校を目指してではなく、私学のカリキュラムに共感して行くのだと思う。公立と私立を決して同じにしないといけないことはない。
- ・地域で育った人間は強い。地域で育つというのはものすごい力があり、魅力を感じる。
- ・地域の子が地域を支える。どう生きるかが魅力ある学校につながる。
- ・地域の良さを生かすには御所という小さな市で人間性を養っていかねばならない。学力、人間形成、調和のできる子どもを育てる。良いところは伸ばし、改革、改善するところはする。
- ・「知・徳・体」の調和のとれた、人間性豊かな子を育てる。
- ・自分でものを考えて言える、相手の意見を聞く、将来性を持っている、子どもを育てる。
- ・御所市の中に素晴らしい教育があるので、もう一度見つめて、編集し直して、これこそが御所市が社会に提案する魅力ある学校であると持っていく。
- ・子どもたちが自分で生きる道を表現できる、たくましい子どもをつくる。
- ・小中一貫教育そのものは魅力ある学校の一つだが、中心ではないと思う。
- ・大正校区や葛上校区で小中一貫校にするのは理想的で、規模的にも良い。
- ・公立の学校として、今までの私立の良さを取り入れつつ、負けない学校づくりをすれば良い。
- ・今の既存校の形では小中一貫は難しい。小中連携を含めて中学校区でどんな子どもを育てたいのか考えないといけない。
- ・小学校、中学校が連携を取る意味で、小中連携はあってもいい。
- ・学校間の変わり目がほしい。9年の長いスパンで気持ちを切り替えられないとしんどい子もいる。
- ・教師同士がもっと連携をとらないといけない。
- ・子ども中心の教育をどうしていくのか、小中にはいろんな形が考えられる。

## その他

### ○次回の会議について

次回の会議は、7月31日（金）午後7時～、市役所で開催する。

## 閉会